

野口徳太郎年譜

No.	和暦	西暦	月日	年齢	内容	肩書き・役職	出典
1	明治11	1878		0	このころ、長野県に出生		
2	明治28	1895	10月	17	第二高等学校(仙台)旧予科(乙組)野口徳太郎(長野)	旧予科(乙組)	第二高等学校一覧 明治28-31年 第二高等学校, 明21-44
3	明治31	1898	11月	20	第二高等学校(仙台)大学予科一部第二年(文科)野口徳太郎(長野)	大学予科一部 第二年(文科)	第二高等学校一覧 明治31-33年 第二高等学校, 明21-44
4	明治31	1898	12月30日	20	弁論「第三 仁道」	第二高等学校	尚志会雑誌 (33) (第二高等学校尚志会, 1898-12)
5	明治32	1899	10月	21	第二高等学校(仙台)大学予科一部第二年(文科)野口徳太郎(長野)	大学予科一部 第二年(文科)	第二高等学校一覧 明治31-33年 第二高等学校, 明21-44
6	明治33	1900	5月	22	第2回奥羽六県北海道聯合教育会	庶務部記録係	奥羽六県北海道聯合教育会報告 第2回, 宮城県教育会, 明34.4
7	明治33	1900	10月	22	第二高等学校(仙台)大学予科一部第二年(文科)野口徳太郎(長野)	大学予科一部 第二年(文科)	第二高等学校一覧 明治33-35年 第二高等学校, 明21-44
8	明治34	1901	10月	23	長野中学校教諭心得(就職年月M34.10)受持学科(英語)	教諭心得	校友会雑誌 (4)(長野中学校校友会, 1902-03)
9	明治35	1902	5月1日	24	長野中学校(長野市)教諭心得(月30)	教諭心得	職員録 明治35年現在(乙)
10	明治36	1903	5月1日	25	長野中学校(長野市)教諭心得(月35)	教諭心得	職員録 明治36年現在(乙)
11	明治37	1904	1月24日	26	県立長野中学校 教諭心得(文, 歴)	教諭心得	中等教育諸学校職員録 明治37年版
12	明治38	1905	5月1日	27	長野中学校(長野市)教諭心得(月35)兼舎監心得	教諭心得兼舎監心得	職員録 明治38年現在(乙)
13	明治38	1905	9月	27	東京帝国大学 文科大学 選科(哲学科) 明治38年入学(野口徳太郎 長野 平)／同期に岩波茂雄(長野)	選科(哲学科)	東京帝国大学一覧 明治39-40年 東京帝国大学, 明19-45
14	大正1	1912	9月	34	東京帝国大学 文科大学 哲学科 大正元年入学(野口徳太郎 長野 平)	哲学科	東京帝国大学一覧 従大正元年至大正2年 東京帝国大学 編 東京
15	大正2	1913	7月	35	東京帝国大学 文科大学 哲学科 大正2年卒業(野口徳太郎 長野)／2年先輩に, 九鬼周造・和辻哲郎	文学士	東京帝国大学一覧 従大正2年至大正3年 東京帝国大学 編 東京帝国大学, 大正3
16	大正2	1913	7月	35	東亜協会入会	文学士	東亜の光 8(8) (東亜協会, 1913-08)
17	大正3	1914	12月	36	私立東京薬学校職員 文学士野口徳太郎	職員(文学士)	下谷繁昌記 明治教育社 編 明治教育社出版部, 大正3
18	大正4	1915	9月1日	37	東京薬学講義録(講師 文学士野口徳太郎)	講師(文学士)	実業の世界 12(17);大正四年九月一日號 (実業之世界社, 1915-09-01)
19	大正6	1917	4月	39	東京薬学専門学校校友会設立(理事 野口徳太郎)		東京薬科大学九十年 東京薬科大学九十年編集委員会 編 東京薬科大学, 1970
20	大正7	1918	11月	40	学士会会員	地方別会員	学士会会員氏名録[大正7年] 学士会事務所, 1918.11
21	大正7	1918		40	酒井信平(大正7年入学～同10年, 富士銀行検査役・新日本土木常務・鈴峯開発副社長)「私を育んだ池袋の四年」野口徳太郎の記事		成蹊実務学校教育の想い出 桃蔭会 編 桃蔭会, 1981.2
22	大正7	1918		40	青葉翰於(大正7年入学)「成蹊実務学校教育の想い出」野口徳太郎の記事		成蹊実務学校教育の想い出 桃蔭会 編 桃蔭会, 1981.2
23	大正8	1919		41	成蹊実業専門学校職員(独逸語講師 文学士野口徳太郎)		成蹊学園六十年史 成蹊学園, 1973
24	大正8	1919		41	成蹊実務学校職員(漢文, 英語 文学士野口徳太郎)		成蹊学園六十年史 成蹊学園, 1973
25	大正8	1919		41	川瀬一馬(大正8年入学)「大正八年以後の実務学校教育手記」野口徳太郎の記事		成蹊実務学校教育の想い出 桃蔭会 編 桃蔭会, 1981.2
26	大正9	1920		42	成蹊中学校職員(物理 文学士野口徳太郎)		成蹊学園六十年史 成蹊学園, 1973
27	大正10	1921	1月	43	東亜協会会員 文学士野口徳太郎((東京市)本郷区駒込林町145)	文学士	東亜の光 16(1) (東亜協会, 1921-01)
28	大正10	1921	5月	43	成蹊中学校(歴, 地 野口徳太郎), 成蹊高等女学校(理化 野口徳太郎), 成蹊実務学校(漢, 博 野口徳太郎)		中等教育諸学校職員録 大正10年(5月現在) 中等教科書協会 編 中等教科書協会, 大正10-15

29	大正10	1921		43	成蹊実務学校職員(漢文, 物理, 化学 文学士野口徳太郎)		成蹊学園六十年史 成蹊学園, 1973
30	大正11	1922	5月	44	成蹊実務学校(漢, 博 野口徳太郎)		中等教育諸学校職員録 大正11年(5月現在) 中等教科書協会 編 中等教科書協会, 大正10-15
31	大正11	1922		44	「野口徳太郎 東京市本郷区駒込林町146 大正2年東大文科大学哲学科を卒業後成蹊実務専門学校教諭となり以て今日に至る」		帝国大学出身録 原田登 編 帝国大学出身録編輯所, 大正11
32	大正11	1922		44	成蹊実務学校職員(漢文, 物理, 化学 文学士野口徳太郎)		成蹊学園六十年史 成蹊学園, 1973
33	大正11	1922		44	平野博(東亜同文書院第24・25期生)「現在のわたくしー人生独白ー」野口徳太郎の記事		江南春秋: 東亜同文書院第24・25期生記念誌 1980.3
34	大正13	1924	12月	46	「府下池袋1178 文学士野口徳太郎」		東亜の光 19(12) (東亜協会, 1924-12)
35	大正15	1926	3月15日	48	鹿児島県立第一鹿児島中学校分校主任となる	分校主任	種高60周年誌(2007.3)
36	大正15	1926	5月	48	鹿児島県立第一鹿児島中学校 種子島分校 修, 国, 漢, 歴 野口徳太郎		中等教育諸学校職員録 大正15年(5月現在) 中等教科書協会 編 中等教科書協会, 大正10-15
37	大正15	1926	11月10日	48	公立中学校教諭 野口徳太郎 五級俸下賜	教諭	官報 1926年11月30日
38	大正15	1926	11月11日	48	鹿児島県立第一鹿児島中学校教諭 野口徳太郎 公立中学校教諭補任, 高等官七等待遇	教諭 高等官七等待遇	官報 1926年11月11日
39	昭和2	1927	5月	49	鹿児島県立第一鹿児島中学校 種子島分校 修, 国, 漢, 習 野口徳太郎		中等教育諸学校職員録 昭和2年5月現在(第24版) 中等教科書協会 編 中等教科書協会, 昭和2
40	昭和2	1927	11月27日	49	「種子屋久先賢伝序」昭和2年12月 於葦竹書院 野口徳太郎謹序		『種子屋久先賢伝』(栖林神社復興会 昭和2年12月27日)
41	昭和2	1927	11月27日	49	日葡親交記念之碑除幕式 祝辞(熊毛郡各学校長総代(種子島中学校長)野口徳太郎)	校長	栖林種子島久基公略伝 阿世知国良 著 熊毛郡聯合男女青年団, 昭11
42	昭和3	1928	1月1日	50	鹿児島県立第一鹿児島中学校 (七等待遇)四△2300野口徳太郎	教諭 高等官七等待遇	職員録 昭和3年1月1日現在
43	昭和3	1928	7月1日	50	鹿児島県立第一鹿児島中学校 種子島分校教諭(七等待遇)四△2300野口徳太郎	教諭	職員録 昭和3年7月1日現在
44	昭和4	1929	1月1日	51	鹿児島県立第一鹿児島中学校 種子島分校(七等待遇)四△2300野口徳太郎		職員録 昭和4年1月1日現在
45	昭和4	1929	3月14日	51	鹿児島県立第一鹿児島中学校校長事務取扱となる	校長事務取扱	種高60周年誌(2007.3)
46	昭和4	1929	4月5日	51	鹿児島県立種子島中学校教諭補任 野口徳太郎	教諭	官報 1929年04月05日
47	昭和5	1930	1月1日	52	鹿児島県立種子島中学校(六等待遇)四△2300 学校長事務取扱 正七 野口徳太郎	学校長事務取扱	職員録 昭和5年1月1日現在
48	昭和5	1930	6月24日	52	鹿児島県立種子島中学校(六等待遇)四△2300 学校長事務取扱 公立中学校教諭 正七位 野口徳太郎 公立中学校長兼教諭に補任 高等官六等待遇	学校長兼教諭	官報 1930年06月24日
49	昭和5	1930	7月1日	52	鹿児島県立種子島中学校(七等待遇)四△2300 学校長事務取扱 正七 野口徳太郎	学校長事務取扱	職員録 昭和5年7月1日現在
50	昭和5	1930	10月8日	52	鹿児島県立第一鹿児島中学校校長となる	校長	種高60周年誌(2007.3)
51	昭和5	1930	10月8日	52	公立中学校長 野口徳太郎 六級俸下賜	校長	官報 1930年12月05日
52	昭和6	1931	1月1日	53	鹿児島県立種子島中学校 学校長(六等待遇)六正七 野口徳太郎	学校長	職員録 昭和6年1月1日現在
53	昭和6	1931	3月31日	53	公立中学校長野口徳太郎 昭和5年7月1日より, 年功加俸年額金132円下賜	校長	官報 1931年06月17日
54	昭和6	1931	4月1日	53	願により本職を免ず 公立中学校長兼教諭野口徳太郎	学校長兼教諭	官報 1931年04月01日
55	昭和6	1931	4月2日	53	口永良部島噴火の記録(5/13見舞状種子中校長野口徳太郎)		口永良部島噴火の記録 安山登 著 [], 1967
56	昭和10	1935	8月	57	皇道に関する夏期講習会講師を嘱託		神宮皇学館一覧 昭和10年度 神宮皇学館 編 神宮皇学館, 昭和10
57	昭和11	1936		58	「儒学に於ける礼の本質」(昭11神宮皇学館夏期講習会講演集)		支那学芸大辞彙 近藤奎 著 立命館出版部, 昭11
58	昭和15	1940	1月15日	62	「井元正清墓碑銘」(西之表お坊墓地井元家墓地), 逸話(種中校歌作詞)	元校長	種子島碑文集: 石の文化誌 第2集 下野敏見, 鮫島宗美 共編 熊毛文学会, 1965
59	昭和18	1943	12月	65	「賀翼軒井上先生米寿次韻 野口徳太郎」		翼軒井上先生米寿祝賀集 友枝高彦, 1943.12